

1. 科目名 (単位数)	日本語教育実習II (2 単位)	3. 科目番号	EJJP4361						
2. 授業担当教員	松浦 康世								
4. 授業形態	講義、グループ討議、発表、模擬授業等	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教育実習I」を履修済みであること。								
7. 講義概要	日本語教育実習Iで学んだ教材分析と教案作成に関する知見や、教壇実習をもとに、日本語教育実習IIでは、あらゆる二ーズの学習者に対応できる実践力を身につける。初級後半の教材分析を行い文型教育から中上級では、どのような日本語教育が目指されているのか理解する。また多様化が進む日本語教育の現場において対応できる実践力獲得を目指す。そのために、あらゆる二ーズを想定し、到達目標を決め、それに沿った教案を作り、模擬授業を行う。それにより、多様化する日本語教育の現場において、あらゆるレベルに対応できる柔軟な日本語教師の養成を行う。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教壇実習を生かし模擬授業が行える。 2 初級後半の文型授業が行える。 3 中上級の会話・読解授業に対応できる。 4 二ーズを設定し教材が作成できる。 5 作成した教材に沿って教案が書ける。 6 作成した教材・教案に沿って授業が行える。 7 日本語教育の効果的方法、工夫、問題点に気づくことができる。 								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬授業と教壇実習のための教案と教材 ・ 教育実習ポートフォリオ (実習の目標、授業見学の報告、模擬授業と教壇実習のルーブリック評価、教育実習の成果と課題、今後に向けての抱負) 								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 授業内でプリントを配布する。 【参考書】 授業内で適宜紹介する。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の教案を書くことができたか。 2. 教案に沿って教えることができたか。 3. 設定した二ーズに合った教材が作成できたか。 <p>○評定の方法：以下の点を総合して評価する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">1. 授業への参加態度</td> <td style="text-align: right;">総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 模擬授業</td> <td style="text-align: right;">総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)</td> <td style="text-align: right;">総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業への参加態度	総合点の 30%	2. 模擬授業	総合点の 30%	3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%
1. 授業への参加態度	総合点の 30%								
2. 模擬授業	総合点の 30%								
3. 提出課題 (ワークシート、教案、レポート等)	総合点の 40%								
12. 受講生へのメッセージ	「日本語教育実習I」で身に付けた技能を更に向上させられるよう、より広い視野で学習者を理解し、自分自身を見つめ直す体験をしてほしい。								
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション、日本語教育実習Iの振り返り (コース内容、実習の進め方、評価方法など)	事前学習	日本語教育実習Iの記録を読み返しておく。						
		事後学習	授業で配布された資料を読み直しておく。						
第 2 回	教育実習の心構え (実習の目的、目標設定、実習に対する留意事項)	事前学習	教育実習の目的を考え、目標を立てる。						
		事後学習	実習の目標をポートフォリオに記入する。						
第 3 回	教材研究 (実習に使用する教科書の特徴と指導項目の分析)	事前学習	指定された教科書に目を通しておく。						
		事後学習	実習する単元の学習目標を把握する。						
第 4 回	授業見学、振り返り	事前学習	授業見学で観察したい事項を記入しておく。						
		事後学習	授業見学で学んだことを記録しておく。						
第 5 回	授業準備 1 (教案・教材の作成、教具の準備)	事前学習	初回実習の授業展開を考える。						
		事後学習	教案と教材を完成させる。						
第 6 回	授業準備 1、教案発表、意見交換 (教案・教材・教具の確認、修正、完成)	事前学習	授業展開に矛盾がないか、再度確認する。						
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。						
第 7 回	模擬授業 1、相互評価、振り返り (教壇実習の練習、観察)	事前学習	スムーズに授業を進められるよう練習する。						
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業展開を修正する。						
第 8 回	教壇実習 1、相互評価	事前学習	教案を修正し、教材と教具を準備する。						
		事後学習	相互評価で出された意見を記録しておく。						
第 9 回	教壇実習 1 の振り返り、ルーブリック評価 (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。						
		事後学習	評価と課題をポートフォリオに記入する。						
第 10 回	授業準備 2	事前学習	第 2 回実習の授業展開を考える。						

	(教案・教材の作成、教具の準備、確認)	事後学習	教案と教材を完成させる。
第 1 1 回	授業準備 2、教案発表、意見交換 (教案・教材・教具の確認、修正)	事前学習	授業展開と教具を確認しておく。
		事後学習	意見交換を受けて教案と教材を修正する。
第 1 2 回	模擬授業 2、相互評価、振り返り (教壇実習の練習、観察)	事前学習	スムーズに授業を進められるよう練習する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、授業展開を修正する。
第 1 3 回	教壇実習 2、相互評価	事前学習	教案を修正し、教材と教具を準備する。
		事後学習	相互評価で出された意見を記録しておく。
第 1 4 回	教壇実習 2 の振り返り、ルーブリック評価 (自己評価、目標の再設定)	事前学習	授業を内省し、気づいた点を記録しておく。
		事後学習	評価と課題をポートフォリオに記入する。
第 1 5 回	振り返りスピーチ、講評、アンケート (実習ポートフォリオの完成、提出)	事前学習	振り返りスピーチの原稿を用意する。
		事後学習	実習ポートフォリオを完成させ、提出する。